

<参考資料>強度検討結果概要

※強度検討はJIS C 8955:2017に則り実施。

文書管理番号:GSa511394E

2022年11月9日

仕様名称	仮想サイズモジュール「1698×1030×t32 19.5kg」風速42m/s 設置高さ15m
------	---

○共通計算条件

モジュール 販売社	-	
モジュール 型番	-	
段	2	°
列	2	
角度	10	
モジュール 設置向き	横置き	
地域	一般の地域	

○計算諸数値

基準風速	42	m/s
設置高さ	15	m
地表面粗度区分	Ⅲ	
垂直積雪量	40	cm
水平震度係数	1.5	

基礎ピッチ(段方向)	115	cm
基礎ピッチ(列方向)	210	cm

○検討荷重条件

長期荷重	自重
短期荷重	自重+風圧荷重 正圧
	自重+風圧荷重 負圧
	自重+積雪荷重
	自重+地震荷重 X方向
	自重+地震荷重 -X方向
	自重+地震荷重 Y方向
	自重+地震荷重 -Y方向

※地震荷重のX方向は段方向、Y方向は列方向

表1 基礎への最大負担荷重

負担荷重種類	負担荷重 N(長期)	負担荷重 N(短期)
最大水平反力F	36	1460
最大圧縮荷重 F_N	308	3047
最大引張荷重 F_T	-	1878

表2 ソーラーベースの設計耐力

ソーラーベース種類	判定式	最大判定数値・判定
ソーラーベースW70	$(N/10)^2 + (Q/5)^2$	0.178 O.K.

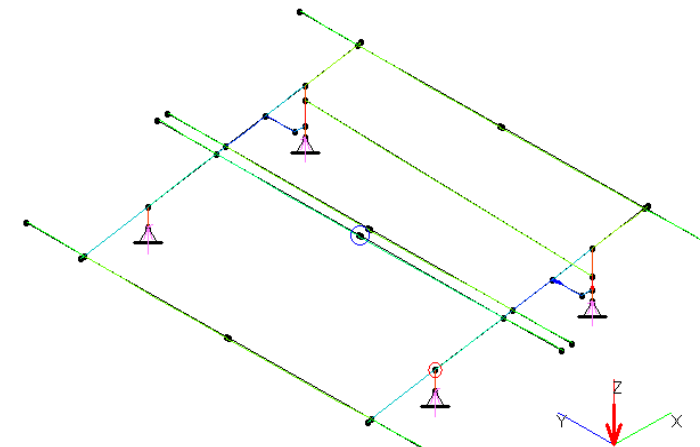


図1 強度計算モデル

※図1のように構造計算ファイルにて計算モデルを作成し、示した検討荷重条件の全てで強度検討を実施。その結果内で、最大となる基礎への負担荷重値を表1に抜粋している。

※本検討結果は、太陽光アレイ周囲の離隔が、辺長の10%の距離、又は2mを確保出来ている想定となります。

<参考資料>強度検討結果概要

※強度検討はJIS C 8955:2017に則り実施。

文書管理番号:GSa511395E

2022年11月9日

仕様名称	仮想サイズモジュール「1698×1030×t32 19.5kg」風速42m/s 設置高さ15m
------	---

○共通計算条件

モジュール 販売社	-	
モジュール 型番	-	
段	2	°
列	3	
角度	10	
モジュール 設置向き	横置き	
地域	一般の地域	

○計算諸数値

基準風速	42	m/s
設置高さ	15	m
地表面粗度区分	Ⅲ	
垂直積雪量	40	cm
水平震度係数	1.5	

基礎ピッチ(段方向)	115	cm
基礎ピッチ(列方向)	195	cm

○検討荷重条件

長期荷重	自重
短期荷重	自重+風圧荷重 正圧
	自重+風圧荷重 負圧
	自重+積雪荷重
	自重+地震荷重 X方向
	自重+地震荷重 -X方向
	自重+地震荷重 Y方向
	自重+地震荷重 -Y方向

※地震荷重のX方向は段方向、Y方向は列方向

表1 基礎への最大負担荷重

負担荷重種類	負担荷重 N(長期)	負担荷重 N(短期)
最大水平反力F	53	1998
最大圧縮荷重 F_N	428	4285
最大引張荷重 F_T	-	2649

表2 ソーラーベースの設計耐力

ソーラーベース種類	判定式	最大判定数値・判定
ソーラーベースW70	$(N/10)^2 + (Q/5)^2$	0.343 O.K.

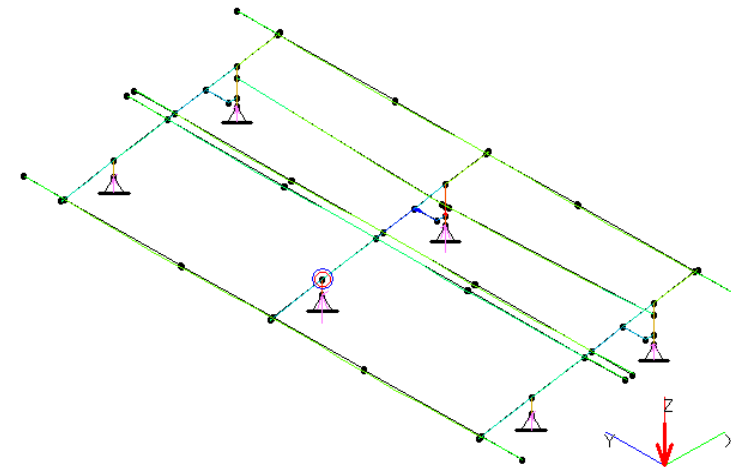


図1 強度計算モデル

※図1のように構造計算ファイルにて計算モデルを作成し、示した検討荷重条件の全てで強度検討を実施。その結果内で、最大となる基礎への負担荷重値を表1に抜粋している。

※本検討結果は、太陽光アレイ周囲の離隔が、辺長の10%の距離、又は2mを確保出来ている想定となります。

<参考資料>強度検討結果概要

※強度検討はJIS C 8955:2017に則り実施。

文書管理番号:GSa511396E

2022年11月9日

仕様名称	仮想サイズモジュール「1698×1030×t32 19.5kg」風速42m/s 設置高さ15m
------	---

○共通計算条件

モジュール 販売社	-	
モジュール 型番	-	
段	2	°
列	2	
角度	20	
モジュール 設置向き	横置き	
地域	一般の地域	

○計算諸数値

基準風速	42	m/s
設置高さ	15	m
地表面粗度区分	Ⅲ	
垂直積雪量	40	cm
水平震度係数	1.5	

基礎ピッチ(段方向)	110	cm
基礎ピッチ(列方向)	210	cm

○検討荷重条件

長期荷重	自重
短期荷重	自重+風圧荷重 正圧
	自重+風圧荷重 負圧
	自重+積雪荷重
	自重+地震荷重 X方向
	自重+地震荷重 -X方向
	自重+地震荷重 Y方向
	自重+地震荷重 -Y方向

※地震荷重のX方向は段方向、Y方向は列方向

表1 基礎への最大負担荷重

負担荷重種類	負担荷重 N(長期)	負担荷重 N(短期)
最大水平反力F	16	3361
最大圧縮荷重 F_N	364	3959
最大引張荷重 F_T	-	3748

表2 ソーラーベースの設計耐力

ソーラーベース種類	判定式	最大判定数値・判定
ソーラーベースW70	$(N/10)^2 + (Q/5)^2$	0.609 O.K.

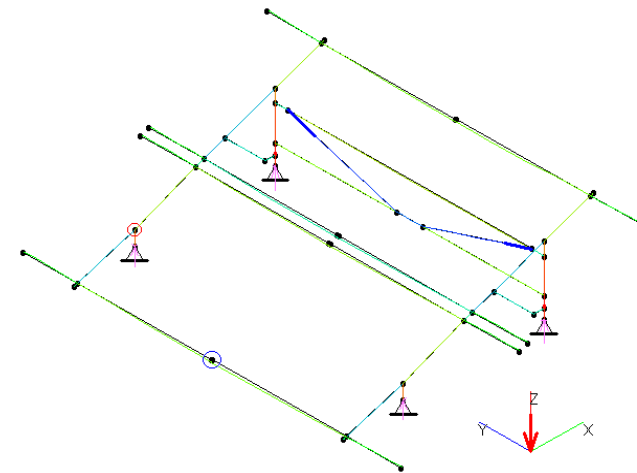


図1 強度計算モデル

※図1のように構造計算ファイルにて計算モデルを作成し、示した検討荷重条件の全てで強度検討を実施。その結果内で、最大となる基礎への負担荷重値を表1に抜粋している。

※本検討結果は、太陽光アレイ周囲の離隔が、辺長の10%の距離、又は2mを確保出来ている想定となります。

<参考資料>強度検討結果概要

※強度検討はJIS C 8955:2017に則り実施。

文書管理番号:GSa511397E

2022年11月9日

仕様名称	仮想サイズモジュール「1698×1030×t32 19.5kg」風速40m/s 設置高さ15m
------	---

○共通計算条件

モジュール 販売社	-	
モジュール 型番	-	
段	2	°
列	3	
角度	20	
モジュール 設置向き	横置き	
地域	一般の地域	

○計算諸数値

基準風速	40	m/s
設置高さ	15	m
地表面粗度区分	Ⅲ	
垂直積雪量	40	cm
水平震度係数	1.5	

基礎ピッチ(段方向)	110	cm
基礎ピッチ(列方向)	195	cm

○検討荷重条件

長期荷重	自重
短期荷重	自重+風圧荷重 正圧
	自重+風圧荷重 負圧
	自重+積雪荷重
	自重+地震荷重 X方向
	自重+地震荷重 -X方向
	自重+地震荷重 Y方向
	自重+地震荷重 -Y方向

※地震荷重のX方向は段方向、Y方向は列方向

表1 基礎への最大負担荷重

負担荷重種類	負担荷重 N(長期)	負担荷重 N(短期)
最大水平反力F	24	3904
最大圧縮荷重 F_N	427	4905
最大引張荷重 F_T	-	4710

表2 ソーラーベースの設計耐力

ソーラーベース種類	判定式	最大判定数値・判定
ソーラーベースW70	$(N/10)^2 + (Q/5)^2$	0.850 O.K.

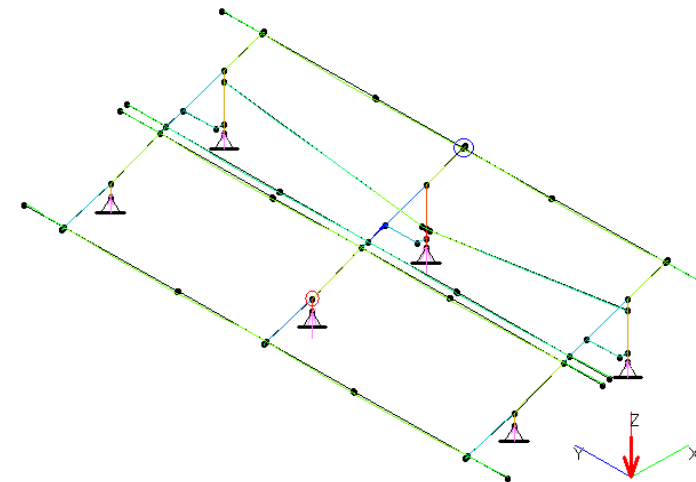


図1 強度計算モデル

※図1のように構造計算ファイルにて計算モデルを作成し、示した検討荷重条件の全てで強度検討を実施。その結果内で、最大となる基礎への負担荷重値を表1に抜粋している。

※本検討結果は、太陽光アレイ周囲の離隔が、辺長の10%の距離、又は2mを確保出来ている想定となります。

<参考資料>強度検討結果概要

※強度検討はJIS C 8955:2017に則り実施。

文書管理番号:GSa511398E

2022年11月9日

仕様名称	仮想サイズモジュール「1698×1030×t32 19.5kg」風速42m/s 設置高さ15m
------	---

○共通計算条件

モジュール 販売社	-
モジュール 型番	-
段	2
列	3
角度	20°
モジュール 設置向き	横置き
地域	一般の地域

○計算諸数値

基準風速	42	m/s
設置高さ	15	
地表面粗度区分	III	
垂直積雪量	40	cm
水平震度係数	1.5	

基礎ピッチ(段方向)	110	cm
基礎ピッチ(列方向)	135	cm

○検討荷重条件

長期荷重	自重
	自重+風圧荷重 正圧
	自重+風圧荷重 負圧
	自重+積雪荷重
短期荷重	自重+地震荷重 X方向
	自重+地震荷重 -X方向
	自重+地震荷重 Y方向
	自重+地震荷重 -Y方向

※地震荷重のX方向は段方向、Y方向は列方向

表1 基礎への最大負担荷重

負担荷重種類	負担荷重 N(長期)	負担荷重 N(短期)
最大水平反力F	12	2725
最大圧縮荷重 F_N	284	3301
最大引張荷重 F_T	-	3178

表2 ソーラーベースの設計耐力

ソーラーベース種類	判定式	最大判定数値・判定
ソーラーベースW70	$(N/10)^2 + (Q/5)^2$	0.406 O.K.

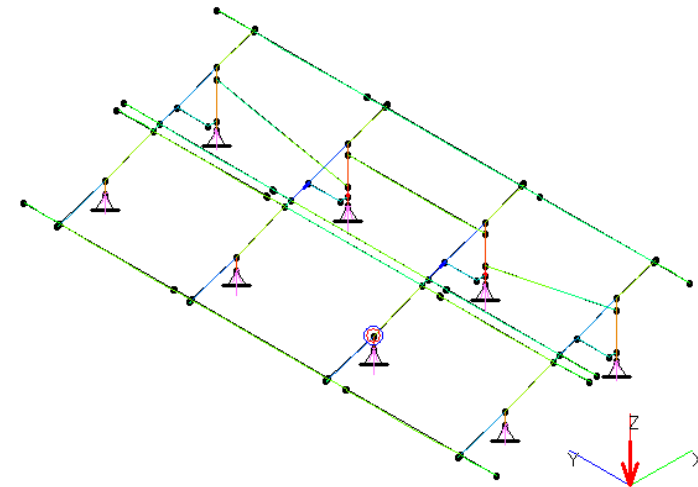


図1 強度計算モデル

※図1のように構造計算ファイルにて計算モデルを作成し、示した検討荷重条件の全てで強度検討を実施。その結果内で、最大となる基礎への負担荷重値を表1に抜粋している。

※本検討結果は、太陽光アレイ周囲の離隔が、辺長の10%の距離、又は2mを確保出来ている想定となります。